

もくじ

**特集** 尾道で、文化を味わう 3

マイナンバーカード申請はお済みですか? 6

物価高騰等に対する支援 7

新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ 8

くらしの窓 9

巨大地震を想定した市内一斉訓練 他

**健康・福祉** 12

認知症講演会/12月3日から9日は障害者週間 他

**子育て** 15

保育所(園)・認定こども園・市立幼稚園  
令和5年度入園(所)児募集 他

**スポーツ** 20

勤労者体育センター受付時間変更 他

**芸術・文化** 21

本因坊秀策囲碁記念館 子ども囲碁大会 他

**情報アラカルト** 24

おのみち市民大学講座/市民病院の職員募集 他

**相談** 30

人の動き [10月27日現在] ※ ( )内は前月比。

人口	64,225世帯 (+43)
男性	63,212人 (+25)
女性	67,255人 (-69)
計	130,467人 (-44)

市内の交通事故 [10月27日現在] 令和4年広島県 交通安全年間スローガン ゆるさな ハンドル・スマホの 二刀流	今月の納期限 11/30(水)
件数 177件 (+34) 負傷者 176人 (+49) 死者 1人 (-5) ※ ( )内は前月比。	国民健康保険料⑤ 介護保険料⑤ 後期高齢者医療保険料⑤

### 今月の表紙



10月8日(土)、3年ぶりに開催された尾道灯りまつりの一場面です。思いや願いが込められたぼんぼりの灯りで、尾道の秋の夜が幻想的な雰囲気に包まれました。(関連記事は32頁)

尾道市役所 0848-38-9111	百島支所 0848-73-2701
因島総合支所 0845-22-1311	浦崎支所 0848-73-2001
御調支所 0848-76-2111	消防局 0848-55-9120
向島支所 0848-44-0110	尾道市立市民病院 0848-47-1155
瀬戸田支所 0845-27-2211	公立みつぎ総合病院 0848-76-1111

### トピックス—Topics—

#### 因島総合支所庁舎が グッドデザイン賞・日事連建築賞をダブル受賞

因島総合支所庁舎が、2022年度グッドデザイン賞〈公共の建築・空間〉と、令和4年度日事連建築賞〈一般建築部門・奨励賞〉を受賞しました。

グッドデザイン賞では、因島の豊かな自然の美しさを感じることができるスポットを、広く公共に資する形でデザインしている点や、津波の高さを想定した設備の配置などが、地域住民に安心感を与え歓迎されているとして評価されました。



#### 百島に地域おこし協力隊が新たに着任



10月1日、地域おこし協力隊として、石山辰也さんが着任しました。活動地域は百島町で、マリンスポーツの振興やPRのほか、地域活性化につながる活動を中心に行う予定です。着任に際し石山さんは、「活動によって百島の人たちの生活環境が豊かになるような仕組みを作りたい」と抱負を語っていました。

#### 市長表敬訪問

#### 第19回スナッグゴルフ対抗戦 JGTOカップ全国大会出場 (10月29日＝兵庫県＝)



NPO法人しまなみスポーツクラブ



御調中央小学校スナッグゴルフ部

#### 第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・ 広島大会出場 (11月4～6日＝広島市、呉市、三原市、北広島町＝)



スペシャルオリンピックスとは、知的障害のある人たちにスポーツトレーニングと競技の場を提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。尾道市からは8人のアスリートが出場します。

広報おのみち11月号に掲載の行事については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、縮小・中止の可能性があります。事前に主催者にお問い合わせの上、ご参加ください。



#### 連携して文化活動を行う 尾道市文化協会

尾道市文化協会は、尾道市の文化振興を目的として、市内で様々なジャンルの文化活動をする個人・団体が集い、連携して活動を行っています。

活動分野ごとに文化・文芸部、美術部、茶道部、華道部、音楽芸能部という5つの部会に分かれていて、令和4年度は全体で団体会員約90団体、個人会員約30人が所属しています。

文化協会員の活動発表の場である「市民音楽芸能祭」「尾道の美展」「尾道小径散策秋の茶会」は、秋の恒例イベントとして定着しており、会員の日々の成果を披露しています。



尾道市文化協会が誕生してから昨年で40年が経ちました。尾道の地で育まれた文化は、今もまことに受け継がれています。今月は、文化協会の歩みと、各部会の活動を紹介します。

◎文化振興課(☎0848-2017514)

# 尾道で、文化を味わう



#### 今年で 発足から41周年

尾道市文化協会は、市民文化団体として昭和56年8月30日に発足しました。

昭和56年の山陽日日新聞の記事には、『尾道市は「文化の町」といわれ、多種多様な文化活動が行われているが、それを一つの大きなものにまとめようと尾道市文化協会を結成することとなり、設立発起人代表に小野鐵之助氏(文化財保護委員長)を決めた。』とあり、54団体、31個人が加入していたことがわかります。

また戦後から文化協会ができるまでには、「尾道文化研究会」「尾道文化連盟」「勤労者音楽協議会」という3つの団体が尾道で文化活動を行っていました。プロの演奏家を招聘して鑑賞の場を提供したり、機関紙の発行や発表の場を設けたりといった活動を行っていました。

尾道市文化協会の元になった団体「尾道文化研究会」の機関紙。表紙絵は小林和作画伯によるものです。

